



「次世代自販機」が“デジタルサイネージアワード 2011”を受賞！

- 株式会社JR東日本ウォータービジネス(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:田村 修)とピーデーシー株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役:菅原 淳之)は、“デジタルサイネージアワード 2011”にて、「デジタルサイネージを活用した次世代自販機」において、シルバー賞を受賞しました。
- 「次世代自販機」は、デジタルサイネージを活用した自動販売機で、通常の自動販売機の約 2 倍の売上を上げるなど、効果をもたらすデジタルサイネージの成功事例となっているものです。また、お客さまの性別・年代や、時間帯・気温に合わせて飲料をおすすめレコメンド機能や、どの飲料がどの性別・年代に購入されているかのデータを取得するマーケティング機能などを搭載している、新しいタイプの自動販売機です。
- 現在は、品川駅・東京駅・仙台駅などに 49 台が設置されており、節電モードでの営業を行っております(一部については休止中)。今後も、合計 500 台を、東京近郊のJR東日本エキナカで展開していく予定です。

1. 機能の特長

- 高輝度型液晶タッチパネルディスプレイ(47 型)採用し、飲料本来の魅力・シズル感を表現。
- シンプルで直感的な操作性を実現。
- 時間帯・気温に応じてコンテンツが変化し、お客さまへ最適な商品をご提案。



2. 受賞に際し寄せられたコメント

- まさしく次世代の自動販売機。
- 多岐に渡り導入効果が高い事例と感じる。
- 長い間技術的な進歩がなかった自動販売機に、様々な技術を組み合わせることで、全く新たな販売網となった。
- 今回のエントリー作品の中で、一番話題性のあるデジタルサイネージ。



DIGITAL
SIGNAGE
AWARD
2011

“デジタルサイネージアワード 2011”とは？

デジタルサイネージコンソーシアムが主催し、公募した国内のデジタルサイネージ作品の中から、優秀な作品が選出され、表彰される。2010年6月以降にデジタルサイネージ作品を制作した企業等から、コンソーシアム会員投票と一般投票により審査される。

【お問い合わせ先】
株式会社JR東日本ウォータービジネス 企画部
担当：加藤・武藤
TEL：03-6853-6005

【参考資料】

『次世代自販機』とは？

1. 「おすすめ」マークを表示

- 『次世代自販機』上部のセンサで、お客さまの属性情報(性別・年代)を判定。
- 判定したお客さまの属性情報、購入時の時間帯、購入日の気温を掛け合わせて、ディスプレイに並ぶ商品に「おすすめ」マークを表示させます。
- 「おすすめ」マーク自体も、お客さまの属性情報、購入時の時間帯、季節に合わせて数種類。レアなマークを探してみてください！



2. 大型タッチパネルディスプレイで操作

- 大型ディスプレイで、商品本来の魅力を表現。
- 商品を選択すると、商品画像を大きく表示。
- タッチパネル式で、シンプルかつ楽しく操作していただけます。

3. その他の機能

- お客さまがいらっしゃらない時は、時間帯・気温に合わせた商品イメージを表示。お客さまの需要を喚起します。
- 売り切れた商品がある時は、商品の一覧画面から売り切れ商品を自動的に削除。空いたスペースに在庫がある商品を表示させ、「赤ランプ(売り切れランプ)」の非表示を実現。
- お客さまの属性情報を含む、POS情報を取得。取得したデータを、商品開発等のマーケティングに活用することができます。

※ お客さまの映像は保存できず、個人情報とは取得できません。

- WiMAXを搭載。絶えず新鮮なコンテンツを配信することが可能です。
- 災害発生時には、「災害支援ベンダー」として利用することが可能。遠隔操作により、即時に無料で飲料を提供することができます。
- インダストリアルデザイナー 柴田 文江氏を起用。従来の自販機にない洗練されたデザインです。

